

委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆一般会計補正予算(第2号)

庁舎内空調中央監視装置増設業務の内容は。

庁舎内の湿度や換気の制御盤が政策室内(壁面に設置)にあり、財政課の職員が出向いて制御をしている。コロナ禍においてより細やかな制御を行うため、制御盤の機能を一部入れたサブパソコンを財政課に設置し、湿度や換気のごまめな制御を行うことで感染症対策とするもの。



システム導入委託料231万円は本来国庫補助金を充てるものではないか。また増額補正の理由は。

今回のオンライン化のための国庫補助金としてのメニューが用意されていないため臨時交付金を活用している。補正内容は行政手続きオンライン化のための業務フロー分析ツール導入と、フォローアップや研修である。

行政手続きオンライン化のための業務フロー分析ツール導入の効果は。

業務分析ツールの導入により、既存の業務フローの問題や課題が可視化され、職員の業務の効率化や負担軽減につながるものである。

吉川市DX推進計画アクション1で掲げるオンライン化が、今回の事業により全体でどの程度進むのか。
今回の事業はオンライン化

のごく一部であり、子育て・介護を中心にマイナポータルと接続する基盤づくりを行い令和5年度から順次手続きを開始する。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2億2448万2千円が吉川市に交付された。その残額と、残額についての計画は。

残額は5513万5千円。今後、感染症対策や経済対策への活用を検討している。

賛成全員で可決



文教福祉常任委員会

◆吉川市重度心身障害者医療費支給に関する条例及び吉川市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

現状は、対象者は何人か。これまでも市内は現物給付を行っているが、市外は一度支払いをしていたく償還払いだった。今回は県内全域に拡大するため提案している。人数は令和2年度末で1190人だった。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算(第2号) ワクチン4回目接種の対象者は。

4回目は、3回目を接種した60歳以上の方や基礎疾患などのある18歳以上の方で、3回目接種から5カ月が経過した方となっている。

4回目接種のスケジュールとワクチンの種類は。

3回目接種から5カ月を経過して接種が可能。6月26日から始まり、現在、国が示しているのは9月30日までとなっている。集団接種で使用するワクチンは武田モデルナとファイザーのワクチン。



小中学校のトイレの洋式化は完了するのか。今後の考えは。

昨年度と今年度については、臨時交付金を活用し、トイレの洋式化を進めることが出来たが、市単費で行うのは財政的にも厳しいところであ